iPad(GIGA 端末)活用実践事例

宇都宮大学共同教育学部附属小学校学校:指導者:伊藤 由紀

学年	教科・領域等	単元名・題材名等
6	家庭	オリジナルバッグをつくろう

1. iPad 活用のポイント

(1) 本時の目標

オリジナルバッグに向けて、自分の取り入れたい袋の工夫の仕方を理解することができる。

(2) 活用アプリ

ロイロノート

(3) GIGA 端末以外で利用した機器

テレビ

(4) アプリの活用場面と目的

	オンライン		オフライン
--	-------	--	-------

授業での活用場面 (授業概要)

自分の生活に合ったオリジナルバックの製作に向けて、自分の取り入れたい袋の工夫の仕方を調べる場面において、ロイロノートを活用した。本実践では、手元で作品例を観察したり、気を付けるポイントを解説しながら、その部分を製作している動画を視聴したりして、どこをどのように縫うかや気を付けるポイントを、写真と言葉でまとめることができるようにした。

2. iPad 活用の画面例(写真等)



手元で作品例を観察しながら、動画も一緒に見ることで、どこをどのように縫うかや気を付けるポイントを理解することができるようにした。作品例を写真に撮ったり、動画をスクリーンショットしたりして、そこに直接書き込むことで、分かったことを簡単にまとめることできるようにした。

自分の生活にあったオリジナルバッグ製作の前に、袋の工夫の仕方を考え、製作の見通しをもてるようにした。また、一人一人の取り入れたい工夫が異なる場合でも、それぞれの場所で作品例と動画を介して、同じ工夫の友達と相談しながら袋の工夫の仕方を調べ、まとめることができるようにした。

3. 効果と課題									
(1)iPad(アプリ)を活用して効果的だった点									
一斉学習		教師による教材の提示							
個別学習		個に応じた学習		調査活動		思考を深める学習			
		表現・制作		家庭学習					
協働学習		発表や話し合い		協働での意見整理		協働制作			
		学校間の交流		家庭学習					
・ 写真に撮って言葉を付け足すまとめ方は、どこをどのように縫うかを簡単に表現することができ、									
調べる時間をしっかり確保できた。									
気を付けるポイントを解説しながら、その部分を製作している動画の活用は、本時でだけでなく、									
実際の製作場面でも視聴しながら製作している児童が見られ、個に応じた支援になっていた。									
(2)iPad(アプリ)を活用して課題に感じた点									
一斉学習		教師による教材の提示							
個別学習		個に応じた学習		調査活動		思考を深める学習			
		表現・制作		家庭学習					
協働学習		発表や話し合い		協働での意見整理		協働制作			
		学校間の交流		家庭学習					
・ 作品例を観察して、子ども達がどこをどのように縫うか大まかなイメージをもった後に、動画を									
子ども達に提示しないと、初めから動画を見て、手順を知るだけになってしまうので、動画を提示									
するタイミングを考える必要がある。									
・ 写真と言葉でのまとめ方は、事前に手さげの製作手順を調べる時や毎時間の振り返りで継続して									
行うことで、一人一人が自分に必要なことを取り入れてまとめられるようにしておく必要がある。									